

教育の窓

学校で大切にしたいこと



めざす子どもの姿

夢・志を持ち、互いに支え合い、
八百津町に誇りを持って
たくましく生き抜く子ども

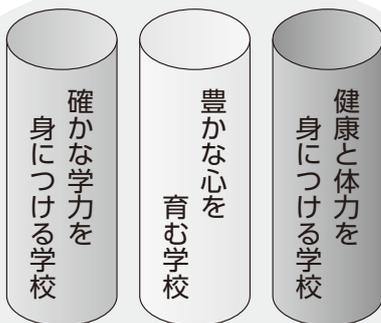
方針

一人一人に「生きる力」の育成をとことん図る

私たちは、人生に夢と志を持ってたくましく生き抜いていく子どもたちを育てていかねばなりません。そして、子どもたちには、自分の夢のためだけでなく、世の中のために尽くす志を持たせたいと考えます。

しかし、少子化や情報化社会の進展、家庭や地域の教育に対する意識や価値観の多様化など、社会状況や教育を取り巻く環境は大きく変化しています。その結果、心の問題や人間関係づくりなど、さまざまな教育の課題が出てきています。よって、子どもたちの社会性や規範意識、学力や体力の向上などを一層磨かなければなりません。そこで、「一人一人に『生きる力』の育成をとことん図る」ことを方針として掲げました。

3本の柱



手段1 教員の資質の向上

手段2 開かれた学校づくり

〈学校のこだわり〉

1. 学校を磨き鍛える場ととらえる
2. 校風づくりを行う
3. かかわりの教育を大切にす
4. 「当たり前」に力を入れる
5. たて（保小中高）の連携とよこ（家庭や地域）の連携を大切にす

1. 磨き鍛える。

子どもたち一人一人はかけがえのない固有な値打ちを持っています。「原石」も磨かなければ、光り輝くことはありません。教え、育て、任せるという段階を大切にしながら、学校は「磨き鍛える場である」というとらえを大切にしたいと思います。

2. 校風づくりを行う。

一歩学校内に足を踏み入ると「子どもの姿」や「先生の姿」「教室や廊下のたたずまい」などから、その学校の雰囲気が感じられます。その雰囲気が良好なほど、子どもの教育にいい影響を与えます。それぞれの学校で校風が漂うようにしたいと思いません。

3. かかわりの教育を大切にする。

人間は「共生」の生き方が大切です。なぜなら、一人では生きていけません。互いに助け合い、力を合わせる事が大切なのです。困った人がいれば助け合い、優れた人がいれば学び合い、互いに思いやりの心を持って生活することを大切にしたいと思いません。

4. 「当たり前」に力を入れる。

人間は社会的に生きていく存在です。そして、集団にはきまりや礼節が必要です。それがなければ、学び合い高め合うことはできません。「時間を守る」「服装を正す」「環境を整える」「挨拶をする」など当たり前のことが当たり前できるようにしたいと思いません。

5. 保小中高の連携、家庭・地域との連携を大切にす。

子どもたちは日々成長していきます。たくましく生き抜く力をつけるために教育活動を行います。それは3年とか5年という時間で身につく力ではありません。だからこそ、保小中高の連携が必要なのです。また、子どもの教育は学校・家庭・地域の連携や協力を抜きにしてはありえせん。たてとよこの連携を大切にしたいと思いません。

